

やさしい日本語を知っていますか？



三重県には約66,000人の外国人が暮らしていて、その国籍・地域は100を超えます。(令和6年12月末現在)
話す言葉もさまざまなので、「外国人には外国語で話す」という考え方が正しいとは限りません。

実は「簡単な日本語だったらわかる」という外国人も多いのです。

やさしい日本語は、相手にわかりやすく伝えるために、言葉づかいや表現を工夫した日本語のことです。
外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がいのある方とのコミュニケーションにも役立つツールとして、
行政、医療、教育、観光などさまざまな分野で取り組みが広がっています。

「やさしい日本語」はどんなときに使うの？

● 地震や台風などの災害時に

災害が起きたとき、多言語で翻訳したり、通訳ができる人を探したりする時間がありません。
急いで情報を伝えたいときに「やさしい日本語」を使えば、多くの人に知らせることができます。

● 日常生活で

困っている外国人を見かけたときや何かを伝えたいときに、ゆっくりとわかりやすい日本語を
話すことで必要な情報を伝えることができます。

「やさしい日本語」への言い換え例

登校	→	学校に行く	キャンセルする	→	やめる
両親	→	お父さんとお母さん	それはできやん	→	それはできません

「登校」「両親」のような漢語は、漢字文化のない国の人にはむずかしいです。カタカナ語や方言も慣れていないとわかりません。いつも使っている言葉を言い換えることで、多くの人に伝わりやすくなります。

「やさしい日本語」には正解がありません

何が伝わりやすいかは相手の出身地や日本語能力、日本での生活経験、また、年齢、性別、障がいの有無などによってそれぞれ違います。相手を思いやり、『わかりやすい言葉』と『やさしい気持ち』でコミュニケーションをとりましょう。



「やさしい日本語」を話すときのポイントを知ろう！

つづきは
裏面で

わかりやすく話す

- はっきり最後まで言い切る、あいまいな言い方をしない
『その日はちょっと……。行けたら行くね。』 → すみません、その日は行けません。
- 1つの情報を1文で短く伝える
『津城跡は広くて、公園もあって、秋は紅葉が色づいていて、とてもきれいです。』
→ 津城跡は広いです。公園があります。秋は葉っぱの色が変わります。とてもきれいです。

簡単な言葉を使う

- 敬語は控えめにして、丁寧語の「です」「ます」を使う
『ご本人様確認ができるものをお持ちですか？』 → 在留カードや車の免許証はありますか？
- 漢語などむずかしい言葉は、簡単な言葉にする
『大型の台風が接近しています』 → 大きな台風が近づいています

思いやりの気持ちを大切にする

- 一度にたくさん説明しないで、ゆっくり話す
- 子ども扱いするような話し方をしない
- 写真や実物を見せて、わかりやすく伝える
- 相手が安心して話せるように、笑顔で接する



はじめませんか、「やさしい日本語」



まずは気軽に
学ぼう！

三重県オリジナルの
ガイドラインを公開中！
誰でも自由に
ダウンロードできます。



出前講座を
活用しよう！

国際交流員が講師となり
「外国人の目線」から
やさしい日本語の基本を
学ぶことができます。



三重県 環境生活部

ダイバーシティ社会推進課 多文化共生班

問い合わせ先

TEL: 059-222-5974